

舞 鶴

<教育目標>

No1 自主・自律・豊かな心

村上市立村上第一中学校

令和4年4月7日発行

入学式式辞

校長 仙田 健

五十七名の新入生の皆さん、村上第一中学校への入学おめでとうございます。皆さんは、今日から村上第一中学校の生徒、すなわち「一中生」と呼ばれることになります。

この村上第一中学校は、本年度、創立五十三年目を迎える伝統校であり、地域に誇れる素晴らしい学校です。それは、皆さんの後ろに座っている先輩達を始め、これまでの多くの卒業生が代々引き継いできた伝統を土台として、常にこれまでの活動を見直し、改善を続けてきているおかげです。学習はもちろん、部活動や様々な学校行事、生徒会活動、ボランティア活動などに全力で取り組む姿は、大いにあなた方の見本となることでしょう。先輩達や先生方から、しっかりと学び、一日も早く、自覚と誇りをもった真の「一中生」の仲間入りができるよう努力してください。

さて、入学にあたり、皆さんに私が一番に伝えたいことは、「小さくても自分なりの挑戦をしよう」ということです。

当校には三つの合い言葉があります。一つ目は、「まず、始める」です。皆さんの前にはこれまで知らなかった新しい人や物、出来事との出会いが待っています。まさに挑戦だらけです。その大切な出会いの時に、小学生だったときの自分を引きずって、「分からないから」「好きになれないから」「興味がないから」などといって、後ろ向きになるのではなく、新しい自分になったつもりで、まっさらな気持ちで、「まず、始める。」という選択をして欲しいのです。

そして、次の合い言葉は「決めて、やり抜く」です。挑戦には、続けること、やり抜くことが大切です。「え～それが難しい」という声が聞こえてきそうですが、そのための秘訣があります。それは、「同じ時間に、同じ場所で、同じ行動をし続ける」ということです。すると行動がいつのまにか、習慣となり、特に努力をしなくても、当たり前になると言われていきます。

でも、挑戦には失敗がつきものです。そこで大切になってくるのが、皆さんの居場所である学級や学年が、「安心して失敗できる場所」でなければならないということです。失敗を、周囲がばかにしたり笑ったりするなど人を傷つけるような雰囲気があれば、みな怖くて失敗をすることができなくなってしまいます。でも、この体育館に掲示してる生徒会スローガン「ともに」の言葉のように、失敗しても周りが優しく受け止めてくれるあたたかい雰囲気があれば、安心して失敗ができます。そうすれば、皆がのびのびといろいろなことに挑戦ができます。そんな学校であって欲しいとの願いを込めたのが三つ目の合い言葉「自分も幸せ、周りも幸せ」です。

「まず、始める」「決めて、やり抜く」「自分も幸せ、周りも幸せ」この三つの合い言葉を時々思い出しながら、「小さくても自分なりの挑戦」をこれから続けていって欲しいと願っています。失敗を恐れて挑戦することから遠ざかるのではなく、失敗は自分ですっきり受け止め、周りからは温かく支えてもらって、次の目標に挑んでいく、皆で力を合わせて、そんな充実した中学校生活にしようではありませんか。

結びに、皆さんが本日から始まる中学校生活を自らの行動で、明るく希望に満ちた、充実した日々とされんことを心から祈り、式辞といたします。